

「花晴れや墨のかおりに筆動く」

書道体験教室

4月3日から連続4回の公民館講座「書道体験教室」が、馬場雄治先生を講師にお迎えして開催されました。

一回目は先生のお話を聞いてからお手本を置き、筆を運びました。一点一画に心を込めて、何枚も何枚も書いていくと「始筆と終筆が難しい」「止めがうまくいかない」などのつぶやきが、そこそこで聞かれます。先生はそんな声を聞きながら、一人ひとりにポイントを

「うまくならない」「難しいけれど楽しい」「55年ぶりの筆です」「日本人を感じた」などの声が上がっていました。馬場先生からは「皆さん、とても素直な筆運びで感心しました。せっかく興味をもつて始められたので楽しみながら続けて欲しいと思います」とのメッセージをいただきました。



世代を越えて交流 将棋が楽しくなる!!

4月22日、鎌田地区福祉ひろばで、児童センターとのコラボ企画「囲碁・将棋を楽しむ」が開かれました。令和2年頃から、地域内の交流を目的に夏休みと厳冬期を除いて月1回のペースで続けられてきています。

この日は、児童センターの職員とともに参加した3年生の男女児童7人が、囲碁サークル、あすなろのメンバーなど8人と、相手を変えながら対局を楽しみました。友達や家の人に教わって将

棋を始めたという子たちは、センターのほか、家でも父や祖母などと将棋を指しているということ、メンバーから「なかなか強いね」との声が聞かれる場面もありました。「考えるのが面白い」「駒を取ったり取られたりするの面白」と子どもたちは真剣に取り組んでいました。対局の合間に定跡の指し手を教わるなどしていると、あつという間に1時間が過ぎました。静かですが楽しいひと時となりました。



●● エコ講座「米ぬかで堆肥づくり」・「緑のカーテン」 ●●



米ぬかと苗のお土産があり、家ですぐに実践できるエコ講座でした。



「米ぬかによる生ゴミの堆肥づくり」と「琉球朝顔の緑のカーテン」について学びました。スライドや印刷資料の他に実物を使った説明はとてわかりやすく、16人の参加者は熱心にメモをとり質問していました。琉球朝顔は11月まで咲き、成長が旺盛なので緑のカーテンに適しているとのこと。

4月23日に鎌田地区公民館で、エコ活動を実践されている地域の村松昭雄さんを講師に

雑感

緑に囲まれた家をイメージし庭に多くの樹木を植えた。常緑樹【松、コウヤマキ、イチイ、チャボシバ】 花鑑賞木【桜、モクレン、サルスベリ、サツキ、ツツジ】 改めて数えてみたら44種類あった▼父親に薦められて育てた木が2本ある。マメ科の広葉樹【延寿(エンジュ)】 白と黒褐色の重厚な材は長生きに繋がる縁起の良い木として、家の床柱に利用されている。和名は【槐】 エンジュと書き、この木で面を彫り鬼門に置くことで、鬼を避ける守りの木と言われている。2本目は柏の木、この木は秋に葉が枯れても落葉せず新芽が出てから落ちるので「新しい世代が育つまで親の世代が途切れない」縁起の良い木とされてきた。この葉を利用した柏餅は、家が代々続く願いが込められて使われている▼多くの樹木は数十年経過し大木になってきた。落葉樹は毎年大量の落ち葉が発生し処理に苦労している。春先の新緑、秋の紅葉、花木類に癒されているが、高齢で木々の手入れが難しくなり、残念ながら低木以外は徐々に伐採を考えている。(松本捷幸)